

令和 7 年 1 月 28 日

鳥取県立中央病院経営強化プランの進捗

鳥取県立病院では、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、令和5年度に鳥取県立病院経営強化プランを策定し、必要な取り組みについて定めている。

経営強化プランで定めた取組について、令和5年度における鳥取県立中央病院の進捗状況を報告し、評価するもの。

(自己評価:◎=順調、○=概ね順調、△=要改善)

①高度急性期医療の提供

1. 医療提供体制の確保及び充実
2. 二次医療圏を越えた専門性の高い医療の提供
3. 二次医療圏内における専門性の高い医療の提供
4. その他特殊医療への対応
5. 医療安全対策の推進
6. 医療情報の活用
7. 患者サービスの向上

令和5年度における主な取組	自己評価
<p><医療提供体制の確保及び充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ○スペクトラルCTの導入 従来に比べて半分の造影剤量で診断能の高い画像提供が可能なスペクトラルCTを導入した。 <p><二次医療圏を越えた専門性の高い医療の提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ○NICUの増床 新生児集中治療室(NICU)の病床を3床(6床→9床)増床した。 ○救急病棟内にICUを設置 救急外来患者のみならず院内急変患者に対応できるよう救急病棟(EC)内にICUを4床設置した。 <p><二次医療圏内における専門性の高い医療の提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ○山陰地方初となるがん放射線治療の開始 山陰地方初の取組として、放射線を出す元素やこれを組み込んだ薬剤を体内に取り入れて行う「放射性同位元素(ルタテラ)内用療法」を開始した。 ○脳卒中相談センターの開設 脳卒中センターを開設し、脳卒中療養相談士として専門医、看護師、MSW が相談員として長期に及ぶ治療やリハビリ、生活の見通しなどの相談に対応した。 ○産婦人科でのロボット手術の開始 従来の外科・泌尿器科・呼吸器・乳腺・内分泌外科に加え、産婦人科でもロボット手術を開始した。 <p><その他特殊医療への対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○DMAT 派遣 	◎

災害派遣医療チーム「DMAT」2チームを能登半島地震被災地(石川県)へ派遣した。

②医師・看護師等の確保と働き方改革

1. 医師・看護師の確保と育成
2. 医師の働き方改革への対応
3. その他、人材確保や働き方改革に関する取組

令和5年度における主な取組	自己評価
<p>(医師・看護師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シミュレーションセンターの開設 「シミュレーションセンター」を開設し、当院以外の医療機関も含めた東部保健医療圏の若手医師や看護師、医療技術職等の人材育成や能力開発に取り組んだ。 <p>(医師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タスクシフトの推進 特定行為研修を修了した看護師が医師の指示により特定行為を行うなどタスクシフトを推進した。 <p>(看護師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フリーアドレスナース制度の導入 子が1歳3か月までに復職すれば、2か月間夜勤をせず、2～3部署の応援業務を行う「フリーアドレスナース制度」を導入した。 ○タスクシフトの推進 夜間看護補助業務の委託及び手術センターの清掃業務委託を開始した。 	◎

③地域連携の推進と圏域内のネットワーク化

1. 地域連携部門の機能強化
2. 他の医療機関への診療支援や人材育成支援
3. 診療材料等の共同購入
4. 病院機能の広報と啓発

令和5年度における主な取組	自己評価
<p><他の医療機関への診療支援や人材育成支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の医療機関への診療支援 医師派遣に加え、薬剤師を岩美病院に派遣するとともに、12月から智頭・岩美の両病院に、日直・当直医を派遣(4～5回程度/月)した。 ○シミュレーションセンターの開設 「シミュレーションセンター」を開設し、当院以外の医療機関も含めた東部保健医療圏の若手医師や看護師、医療技術職等の人材育成や能力開発に取り組んだ。(再掲) <p><病院機能の広報と啓発></p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報室の設置 有志職員が参画して広報等の企画・運営を行う「広報室」を設置し、地域の集会所に向いて行う「出前講座」や職員の小学生(高学年)から高校生を対象にした「家族の参観日」のほか、SNSによる情報発信を開始した。 	◎

④健全経営の確保

1. 経営に関する基本事項
2. 収益確保のための取組
3. 経営効率化の推進
4. 将来経営目標

令和5年度における取組					自己評価
○難易度の高い手術の実施や夜間看護体制加算等により診療単価の向上に取り組んだ					◎
(新たな施設基準の取得等(主なもの))					
<ul style="list-style-type: none"> ・特定集中治療室管理料(E-ICUの新設:5月～)、 ・夜間100対1急性期看護補助体制加算及び夜間看護体制加算(1月～)、 ・外来腫瘍化学療法加算の連携充実加算(4月～)、短期滞在手術等基本料1(7月～)、 ・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下両性縦隔腫瘍手術(手術支援機器を用いるもの)(4月～) ・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(手術支援機器を用いるもの)(11月～) 					
		令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	差引増減 (B)-(A)	
入院	延べ患者数	139,597人	145,795人	6,198人	
	平均単価	84,171円	88,632円	4,461円	
	病未稼働率(一般)	75.0%	78.4%	3.4%	
	平均在院日数	11.0日	11.0日	0日	
外来	延べ患者数	197,403人	194,826人	▲2,577人	
	平均単価	21,897円	24,358円	2,461円	

○主な数値目標及び実績

(単位:百万円)

		R5	R6	R7	R8	R9
医業収益	目標	17,972	18,077	18,077	18,216	18,392
	実績	17,980	-	-	-	-
	差引	8	-	-	-	-
医業外収益	目標	2,712	2,404	2,339	2,230	2,191
	実績	2,751	-	-	-	-
	差引	39	-	-	-	-
特別利益	目標	106	103	170	265	286
	実績	95	-	-	-	-
	差引	△11	-	-	-	-
医業費用	目標	19,644	19,813	19,580	19,471	19,470
	実績	19,529	-	-	-	-
	差引	△115	-	-	-	-
医業外費用	目標	1,164	1,106	1,096	1,094	1,095
	実績	1,163	-	-	-	-
	差引	△1	-	-	-	-
特別損失	目標	24	27	29	21	28
	実績	24	-	-	-	-
	差引	0	-	-	-	-
医業損益	目標	△1,672	△1,736	△1,503	△1,255	△1,078
	実績	△1,549	-	-	-	-
	差引	123	-	-	-	-
経常損益	目標	△123	△439	△260	△120	18
	実績	39	-	-	-	-
	差引	162	-	-	-	-
純損益	目標	△41	△362	△119	124	276
	実績	110	-	-	-	-
	差引	151	-	-	-	-